

令和7年7月18日

教員の公募について

国立大学法人 三重大学
大学院生物資源学研究科長
〔公印省略〕

本研究科において、下記要領で教員を公募いたします。

1. 職名・募集人員

助教1名

2. 勤務形態

常勤（任期なし）

3. 所属

生物圏生命科学専攻・生命機能化学講座・食品生物情報工学教育研究分野

4. 講座および教育研究分野の教育と研究内容

生命機能化学講座は、バイオサイエンスとバイオテクノロジーの手法を用いて、食料、健康、医薬、生活、環境の広範囲な領域において生物資源を有効利用することを目的とし、動物・植物・微生物の多彩な生命現象の仕組みおよびこれらの生物が生産する物質の分子構造と機能を明らかにするための教育と研究を行っています。食品生物情報工学教育研究分野では、食品および農産物がもつ、構造・かたち・色彩・味・機能などのマクロな生物情報に着目し、分子・細胞・生物個体といった多様な階層での解析を進めています。そして、得られた生物情報を食料の生産、加工、流通を含む各段階で最大限に活用するための生物・食品化学工学的な基礎と応用に関する教育と研究を展開しています。また、光計測技術を応用し、実際の食品製造や農林水産業の現場における品質計測・評価法の開発、および新規食品加工法の開発など、多岐にわたる研究に取り組んでいます。

5. 担当予定授業科目（いずれも分担）

（学部・共通教育）

生命機能化学実験Ⅰ・Ⅱ、生命機能化学演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、
データサイエンスⅠ・Ⅱ、化学実験など

（大学院博士前期課程）

生命機能化学特論Ⅰ・Ⅱ、食品生物情報工学特論、食品生物情報工学演習、生命機能化学特別研究など

（大学院博士後期課程）

食品バイオ工学、特別演習、特別実験、特別調査研究など

6. 応募資格・条件

- (1) 博士の学位を有する者（着任時までに取得見込みのある者を含む）で、学部学生および博士前期・後期課程の学生の指導に熱意をもって取り組めること。
- (2) 学部・研究科および当該教育研究分野の運営に協調性をもって積極的に取り組めること。とくに当該教育研究分野の教育研究について、関連教員と協力して取り組めること。
- (3) 食品生物情報工学分野における研究実績および研究能力を有すること。具体的には、食品工学、生物化学工学、農芸化学、またはそれらに関連する基礎的な素養をもち、食品・農産物に関する光計測技術、加工技術もしくはその情報解析に関する研究業績を有すること。また、食品・農産物の特性や生物情報と品質情報に関して、網羅的に解析する手法、あるいはその基礎となりうる研究業績を有すること。
- (4) 地域共創大学としての三重大大学の目標を理解し、地場産業の育成につながる産学共同研究に積極的に取り組む意思があること。

三重大大学では、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

※本学では、「三重大大学ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」（令和4年12月27日）を行い、学内保育園や研究補助員配置など研究教育環境の整備やワーク・ライフ・バランス支援の取り組みを積極的に推進しています。詳しくは下記の URL をご参照ください。（<https://www.mie-u.ac.jp/danjo/wlb/>）

7. 応募書類（A4 判にて PDF ファイルを提出）

- (1) 履歴書（写真貼付）※本学指定の様式に限る。
- (2) 業績目録（原著論文、著書、総説、その他について、項目ごとに分けて発表時期の新しいものから順に並べ番号を付すこと）。原著論文については、自らの貢献度や実際に担当した部分について説明する文章（各 200 字程度）を添えること。
- (3) 上記業績目録に掛かる PDF ファイル（代表的なもの 10 編以内）
- (4) 研究費獲得実績、プロジェクト参加実績一覧
- (5) 教育実績一覧
- (6) 社会連携に関する実績一覧
- (7) 管理運営に関する実績一覧
- (8) これまでの教育研究活動に関する概要（1 枚程度）。業績目録（2）の原著論文の文献整理番号を引用のこと。
- (9) 着任後の教育研究活動に関する抱負（1 枚程度）。
- (10) 応募者の連絡先（住所、電話番号、電子メールアドレス）
- (11) 応募者についての照会先（2 名：氏名、所属、役職、電話番号、電子メールアドレスなど）

※ 応募に必要な本学指定の様式は、以下よりダウンロードできる。

三重大大学ホームページ（教職員採用情報＞教員募集）

<https://www.mie-u.ac.jp/about/recruitment/index.html>

8. 応募期間

令和 7 年 7 月 18 日（金）～令和 7 年 9 月 19 日（金）

9. 選考方法

書類審査を主としますが、選考の過程で面接を行う場合があります。
面接の場合の旅費は、自己負担となります。

10. 着任時期

令和 8 年 1 月以降のできるだけ早い時期

11. その他

給与は三重大学年俸制適用教員給与規程による年俸制とし、年俸額は採用候補者の経歴などを勘案して決定されます。

※本学では、男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。なお、選考に際し、男女雇用機会均等法第 8 条（女性労働者に係る処置に関する特例）の規定により、業績（研究、教育、社会貢献等）及び人物の評価において同等と認められる場合には、女性を優先的に採用します。

※女性の応募を強く希望します。

12. 応募書類提出要領

応募書類は電子データでの提出になります。提出用 URL をお送りしますので、応募希望の方は 9 月 5 日（金）までに下記メールアドレスにその旨連絡願います。なお、メールの件名には「生命機能化学講座・公募書類提出用 URL 希望」と記載してください。

三重大学大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻

専攻長 教授 福崎 智司

E-mail: satoshi_fukuzaki@bio.mie-u.ac.jp

13. 問い合わせ先

三重大学大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻 生命機能化学講座

講座主任 教授 竹林 慎一郎

TEL : 059-232-1211（三重大学代表）

E-mail: stake@bio.mie-u.ac.jp

14. 参考

生命機能化学講座教員一覧（令和7年7月1日現在）

教育研究分野	教授	准教授	助教
分子細胞生物学	竹林 慎一郎		プーンパーム ラウイン
分子生物情報学	末原 憲一郎	三宅 英雄	
生理活性化学	稲垣 穰		
創薬化学		増田 裕一	
生物機能化学		勝崎 裕隆 岡咲 洋三	
生物制御生化学	寺西 克倫		
食品生物情報工学	橋本 篤		[本公募]
食品化学	磯野 直人		
微生物遺伝学	木村 哲哉	國武 絵美	
栄養化学		西尾 昌洋	栗谷 健志
食品発酵学		梅川 碧里	
食品機能学 (連携大学院)	小関 誠 石原 則幸	小林 純也	

生物資源学研究科のホームページ

<https://www.bio.mie-u.ac.jp>

生物圏生命科学専攻のホームページ

<https://www.bio.mie-u.ac.jp/academics/master-15/dep03/index.html>

以上